

板書の仕方とノート指導

「児童生徒がどのようにノートを写すのか」構成を考えて、板書しましょう。

板書の仕方



板書の意義

- ア 学習内容の要点・重点の整理となる。
- イ 学習内容の継続的指示となる。
- ウ 一目で、学びの思考過程が明らかとなる。

3分割で板書を構成する

導入・課題提示・見通し

4/6 3けたの数のたし算

P12 ① 365円のパイと、472円のケーキを買います。代金はいくらですか

(式) $365 + 472$

学習問題と本時のめあてを区別

学び合いの足跡

かだい

たし算の筆算のしかたは、どうしたらよいのだろうか。

児童の考え

事実・意見・順序

思考の過程

まとめ・適応問題・考察

365 十の位 6+7
+472 百の位に1くりあげる
837

まとめ

たし算の筆算は、3けたになっても、位をそろえて、一の位からじゅんに計算します。

① 243 ② 508
+625 +471

1色、ノートに書かなくてもよい色を決めておくと便利。

『かだい』プレートを作成し使用。青で囲む。学年に応じ「課題・めあて」も可。

『まとめ』プレートを作成し使用。赤で囲む。

「かだい」と「まとめ」等は板書と同じ色で、同じように書く。

1時間で学習したこと、感想、新たな疑問等を自分の言葉で表現する。

ノート指導



ノート指導の意義

※色覚障害の児童生徒に対する配慮も必要

- ア 学習内容の理解の助け、定着させる。
- イ 考えの整理、深化、表現活動に役立つ。
- ウ 学習の軌跡となり、学びの連続性が生まれる。
- エ 学習状況の評価につながる。
- オ 家庭学習につながる。

4/6 3けたの数のたし算

P12 ① 365円のパイと、472円のケーキを買います。代金はいくらですか

(式) $365 + 472$

かだい

たし算の筆算のしかたを考えよう。

自分の考え

自分の考えは、消さずにのこす。

365 十の位 6+7
+472 百の位に1くりあげる
837

まとめ

たし算の筆算は、3けたになっても、位をそろえて、一の位からじゅんに計算します。

ふりかえり

1時間で学習したこと、感想、新たな疑問等を自分の言葉で表現する。

行間をしっかりととる。

直線は定規を使う。(筆算・分数・答え等)

上下左右は2ます空け、ゆったり使う。

間違えは消さずに、他の所書き直す。

「筆算」や「補助計算」を消さない。

①

| | | |
|---|---|---|
| 2 | 4 | 3 |
| + | 6 | 2 |
| 8 | 6 | 8 |

②

| | | |
|---|---|---|
| 5 | 0 | 8 |
| + | 4 | 7 |
| 9 | 7 | 9 |

③

| | | |
|---|---|---|
| 3 | 2 | 7 |
| + | 1 | 6 |
| 4 | 8 | 1 |

③

| | | |
|---|---|---|
| 3 | 2 | 7 |
| + | 1 | 6 |
| 4 | 9 | 1 |

① (式) $553 \div 7 = 79$

| | |
|----|-----|
| 7 | 9 |
| 7) | 553 |
| 4 | 9 |
| 6 | 3 |
| 6 | 3 |
| 0 | 0 |

答え 79人